

考え、話し、**変わる日本へ。**

だれひとり取り残さない

立憲民主党埼玉県第1区総支部長

衆議院議員

たけまさ 公一



臨時国会開会 高市政権連立

枠組み見直し たけまさ公一憲法審査会長に

10月21日臨時国会が始まりました。参議院議員選挙から3ヶ月が経過しました。石破総理が辞任を表明し、自民党新総裁に高市早苗さんが選ばれて、公明党が政権離脱を表明して、新しい連立相手に日本維新の会を迎えての開会です。この間、政治空白とも言える状況が続きました。

参議院議員選挙で示された民意である **物価高騰対策** に早急に取り組みます。

また、現役世代の皆様が重視したのは「税」「社会保障料」の負担の重さではなかったでしょうか。なおかつ、「税」の使い道を明らかにすることを求めたと思います。

これらにも、真正面から向き合うべく、立憲民主党も執行部、次の内閣も刷新して臨んでいます。

税のあり方、税の使い方は有権者・納税者が決める



ガソリン暫定税率の年内廃止 この間、与野党協議で合意した「ガソリン暫定税率（1リットル25.1円）の年内廃止」を実現します。物価高騰対策の一つがモノを運ぶ価格を抑えることにあります。

そして、**軽油引取税の暫定税率廃止**（1リットル17.1円）を求めます。

消費税、所得税の軽減 くわえて、消費税、所得税（基礎控除の拡大）の軽減です。

消費税については、民主党政権で掲げた「給付付き税額控除」の実現を図ります。制度設計のための与野党協議を求めます。

給付付き税額控除 「給付付き税額控除」は、お納めいただいた「消費税」を後程お支払（還付）する制度です。諸外国では「労働バック減税」「キャッシュバック減税」とも呼ばれています。

必要なのは、それぞれの方の「所得」の把握です。マイナンバー導入でより一層正確になりました。

例えば、食料品の消費税は1人当たり平均年額4万円です。これを所得に応じてお支払い（還付）する金額を変えていく、あるいは所得税納税額を減額します。

所得税の基礎控除の拡大は、令和7年度分から行われていますが、**さらなる控除額の引き上げを求め、手取り額を増やす与野党協議も求めます。**

社会保険料の現役世代の軽減 合わせて、社会保険料の現役世代の軽減です。2012年の社会保障と税の一体改革で、消費税率の引き上げとともに、社会保障の対象に子ども子育て対策を含めるなど社会保障サービスの充実を進めました。

改めて現役世代の痛税感が増す中、社会保障と税の一体改革の第2弾が必要です。**具体的には現役世代の社会保険料の軽減を求めています。**

国政調査権の強化充実 会計検査院の調査で、この6年間に4000億円近いお金が、国際機関に拠出されながら、繰り越されていたこと、繰り越されたお金がどう使われたのかを把握していないなどのずさんな対応が政府財務省、各省庁に見られました。

国際機関に拠出したら、そのお金の使い方は、後はお任せではいけません。 こうした点を改善するためにも国会の「国政調査権の強化充実」を求めます。

憲法審査会欧州派遣報告

9月中旬、英国ドイツベルギーに、衆議院憲法審査会メンバーとして行ってきました。憲法改正国民投票法で、ネットCM規制が必要との意見を踏まえ、英国ドイツの国会議員選挙、EU議会選挙におけるSNSに対する外部からの影響（外国勢力の介入など）については、昨年今年といづれの選挙でも外国勢力、特にロシアの介入があったことを聞きました。

EUでは、昨年デジタルサービス法（DSA）が施行され、外国勢力の介入あるいは疑・誤情報の発信があれば、巨大プラットフォーム（Google、メタ、X）に対して、発信元を特定、あるいは訂正削除を求めることができる内容です。もし、それに、巨大プラットフォームが従わない場合は、世界の売上額の6%の制裁金を科することができる法律です。

このことをトランプ大統領は目の敵にしていますが、EUに加盟するドイツでも「4.5億人のEUと、1.2億人の日本を合わせた5.7億人で連携すれば巨大プラットフォームへの交渉力は持てる」と意見を交換しました。

日本の法規制はここまで強くないので、表現の自由に配慮しながらの法規制強化が必要であると考えます。

また、英国では、選挙委員会の話を聞くと、きわめて独立性の高い組織として、「選挙では相手候補より選挙資金を多く使えない」というルールのもと、その選挙資金の規制

並びに公表を徹底していました。

さらに、ドイツでは、議会調査権が、国会の少数であっても「調査委員会」設置を求めることができるなど「少数者調査権」として少数の国会議員に対する配慮がされていました。日本の国政調査権が多数決がなければ行使できない点を補う参考になりました。

加えて、ドイツではSNSのファクトチェック（疑・誤情報の真偽を定める）では、オールドメディアとされる新聞テレビの重要性が指摘されました。

参議院議員選挙で、「外国勢力の介入」をデジタル大臣が発言してただけに、その真偽を明らかにするとともに、臨時国会の憲法審査会で上記を報告する予定です。

憲法審査会長に就任

私は、この臨時国会で衆議院憲法審査会長につきました。憲法審査会には、①憲法改正の発議 ②憲法及び憲法に関わる基本法制の調査 ③憲法改正国民投票法の審査が掲げられています。

これら3つの観点から審議の充実に努めてゆきます。



たけまさ(武正)公一 衆議院議員



1961年生まれ。うし年。B型。浦和区大東3丁目在住。妻と一女一男。木崎小・木崎中・浦和高校・慶應義塾大学法学部政治学科卒業。松下政経塾出身。

1995年埼玉県議初当選。2000年衆議院議員初当選（7期）外務・財務副大臣・衆院憲法審査会会長代理を歴任。

■第241回たけまさ公一と語る会

11月24日（月・祝）14:00-15:30 埼玉会館5C会議室



立憲民主党 埼玉県第1区メンバー



立憲民主党埼玉県第1区総支部 衆議院議員たけまさ公一事務所

〒330-0074

さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2F

TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846 voice@takemasa-k.jp

たけまさの政策や実績、最新のイベント案内、たけまさ日記など、様々な情報を発信中！**たけまさで検索！**

takemasa-k.jp

たけまさ公一公式サイト

